

月とカレンダー

昨年、442年ぶりの天体ショーがあるというので、帰宅が暗がりで見上げてみた。なんでも皆既月食と天王星食の組み合わせは、織田信長の時代以来だとう。

古来、日本人は詩歌や絵画に描き、田畑の耕作にも天体観測をするほど、夜空を眺め、月や星を愛する習慣があった。普段の暮らしでも、月が立つから「ついたち(月立ち)」、月が欠けていってこもるので「つごもり(晦日)」というように、月の満ち欠けが生活のリズムとなるカレンダーとなっていた。さて、新年を迎えたことでもあるので、今月はカレンダーのお話でも。

正月が交錯する1月2月

古い新聞を見ていたら、昭和7(1932)年2月5日付で「あす大晦日」という文字が飛び込んできた。続けて読んでみると、2月17日には「初市」でにぎわいが期

待されることも。2月上旬が正月だなんていうと、1月は何なんだったことになってしまふ。それじゃあ遡って、1月1日を見てみると「年頭の辞」には始まり、「けさの雀様初詣賑ひ」「あす初荷」「五日初売り」と正月ムード満載。なのにまたもや2月に大晦日。いつたい正月はいつなんだ？ それというのも、今のような太陽の運行に基づいた太陽暦が採用されるまでは、お月さんの形に則った曆太陽太陰曆・旧曆を使っていた。季節感が微妙にずれ



▲マチの初荷風景

ていくので、時折うるう年ならぬ「うるう月」を設けて、それを解消していたのだという。それでも正月が2月になってしまふぐらいずれてしまうものだから、国は明治5(1872)年に太陽暦への改暦を断行。しかしながら、それまで千年以上も慣れ親しんだ暦を変えるには、幾多の年月とそれなりの理由が必要であったようです。

商いと農業と

そんな旧暦打破を試みたのは、明治42(1909)年に誕生したマチの事業主の会、古河実業協会。商いに従事する側からすれば、東京の市場と商取引するには旧暦は不便であったため「北総之実業」という機関紙を通じて、新暦キャンペーンを展開した。

しかし、古河の商店を利用する周辺では旧暦が根強く、新暦と旧暦が混在することになってしまった。マチでは、2月に初市ならまだしも、ある年は1月5日に七五三、1月12日に初市があったかと思うと、3月2日にも

旧暦の初市が……。お雛様と鯉幟が乱立するなんてことも。昭和32(1957)年のアンケート調査でも、正月は「新暦がよい」との回答が全体の4分の1であるのに対し、半数以上が「旧暦がよい」と答えている。

生活を変えることの難しさ

交錯したカレンダーも、明治に始まった改暦から100年はかかったわけですが。日々の積み重ねである生活を変えることの、なんと難しいことよ。次の大きな天体ショーは土星食と皆既月食の321年後、アタクシが381歳の時である。生活習慣を見直してもムリか。いやいやアンタなら大丈夫だって。……そんな言葉、信じてもいいのですか。

古河歴史博物館学芸員 立石尚之

【一般書/随筆】

仰天・俳句断

夢枕獯 著

俳句の話から、縄文、仏教、懐かしのプロレス話に、瀬戸内寂聴、野田知佑らとの逸話まで。ガンになったことを契機に縦横無尽に綴ったエッセイ集。

出版社…文藝春秋

【児童/絵本】

まよなかのおしっこ

さいとうしのぶ 作

「今日からひとりで寝ます」と宣言したばく。だけどその日の夜中、トイレに行きたくなくて目がさめてしまった。今は2時、おばけの時間。部屋の戸を開けたとたん、上からおばけが落ちてきたらどうしよう…。

出版社…KADOKAWA

図書館の本棚から

【一般書/小説】

サウンド・ポスト

岩城けい 著

「トーチャン、音楽って言葉なんだ！」英語がわからない父親と日本語がわからない娘が、オーストラリアの地でつむぎ、響きあう、言葉と音楽の物語。

出版社…筑摩書房



古河図書館

【児童書】

宇宙食になったサバ缶

小坂康之 著

別司芳子 著

宇宙で食べたくなる味って？ JAXA認証宇宙日本食「サバ醤油味付け缶詰」をつくった高校生たちと支えてきた大人たちの14年を描いたノンフィクション。

出版社…小学館



ファインダー越しの昭和時代

Time Travel Photographer

なだらかな肩のラインと細く絞られたウエスト、裾の広がったスカートは「ニュールック」と呼ばれ、1950年代の女性ファッションの基礎となりました。

古河市在住写真家 鈴木路雄さん



ファッション

1950年代

